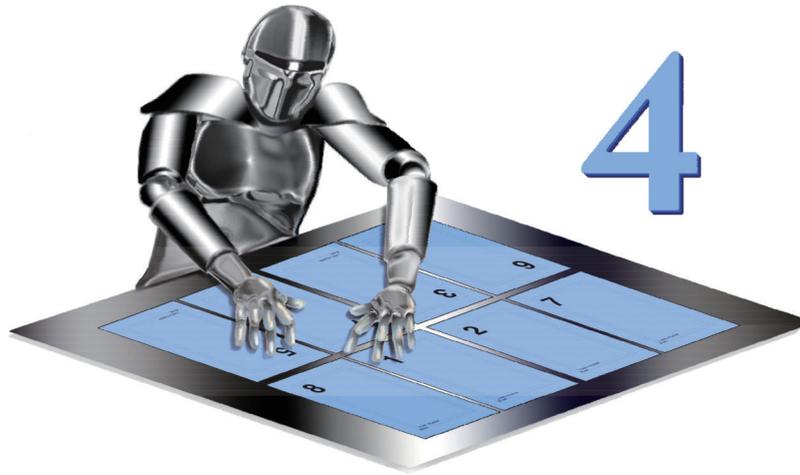


## QI + 4 新機能



### 動作環境

Mac OS 10.7 以上

Windows 7 以上

Acrobat 9 以上（Acrobat DC を含みます）

※ QI + 3 は Acrobat DC に対応していません。

### 環境設定及びシーケンス

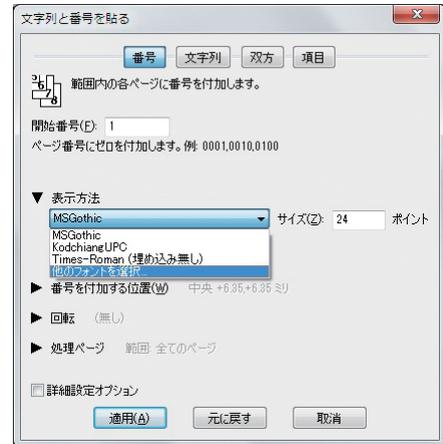
QI + 4 の初回起動時には、旧バージョンの環境設定を読み込み、QI + 4 用の設定ファイルを作成します。

## 目次

<u>「文字列 / 番号」を貼る</u>	<u>3</u>
<u>フォントの埋め込み</u>	<u>4</u>
<u>ショートカット</u>	<u>5</u>
<u>挿入ページ</u>	<u>6</u>
<u>「タイルページ」</u>	<u>7</u>
<u>「PDF ページ」</u>	<u>8</u>
<u>「手動面付け」</u>	<u>9</u>
<u>スマートトンボ</u>	<u>10</u>
<u>「剥がす」</u>	<u>11</u>
<u>「ページサイズ」</u>	<u>12</u>
<u>「ページツール」</u>	<u>13</u>
<u>「ページ組替え」</u>	<u>14</u>
<u>「トリム &amp; シフト」と「クリーブ」</u>	<u>15</u>
<u>「マスキングテープ」</u>	<u>15</u>
<u>シーケンスの「管理」</u>	<u>16</u>

## 「文字列 / 番号」を貼る

「文字列 / 番号」を貼る機能は、選択項目が追加され、「元に戻す」機能を追加しました。各グループの詳細な機能は、▼マークをクリックして表示します。



文字列 / 番号は、適用ボタンで貼り付けられます。

この時ダイアログは「元に戻す」新しい機能を使用する為に、開いた状態です。

文字列の配置に問題がなく、追加の文字列もなければダイアログを閉じます。

配置に問題があれば、「元に戻す」機能を使用します。

## フォントの埋め込み

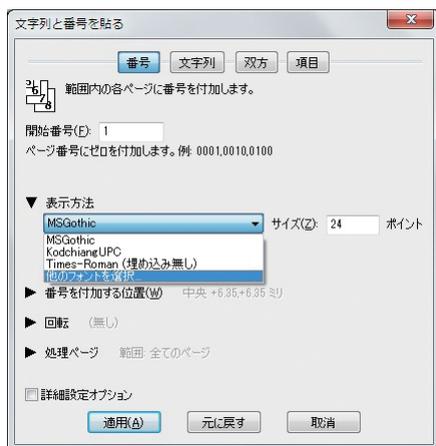
システムにインストールされた埋め込み可能なフォントを使用します。

一部のユニコード記号フォントも使用できます。

旧バージョンに内蔵されていたフォントも使用できます。システムフォントと区別する為に、(埋め込み無し)と表示されます。

既存の自動化シーケンスとXMLファイルには、旧バージョンのフォントが使用されます。

フォントリストには、最近使用したフォントを表示します。



フォント名の▼を選択します。「他のフォントを選択」

フォント選択ウィンドウが開きます。



フォントの色を選択するとカラー選択ウィンドウが開きます。標準は黒です。

CMYKタブでは各色%を指定できます。CMYK・グレー以外のタブではシステムカラーピッカーを使用できます。

※カラーピッカーはシステムに依存します。

Windows と Macintosh では表示が異なります。



QI + 3 以前のフォントを埋め込みできないバージョンでは、「PDF/X を保持」するオプションは、文字列などを追加できませんでした。

QI + 4 では文字列を追加する為に、埋め込みフォントを選択する事ができます。

## ショートカット

QI + 4 には特定の操作をショートカットする機能があります。

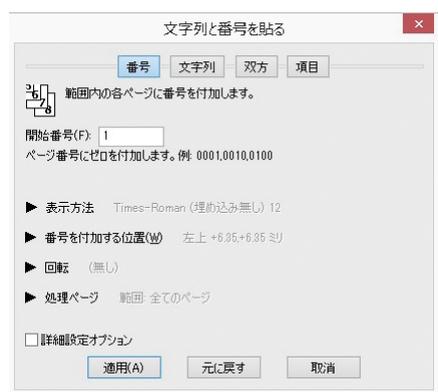
通常は「前回と同じ設定」または「ダイアログ画面を表示しない」などのケースで使用します。

コントロールパネルでは、Shift キー+任意のコマンドボタンをクリックして使用します。

その効果は、ボタンのダイアログで「OK/ 次へ / 終了」まで選択した結果になります。手動面付け画面で、Shift + 「ターゲットを変更」をクリックすると、現在の書類をターゲットに選択します。

「ソース選択」の場合は、ソースとして現在の書類を選択します。(前回と同じ書類ではありません)

「文字列 / 番号」・「マスキングテープ」・「PDF のページ」の貼り付けにも使用できます。



Shift + 「適用」(適用後ダイアログを閉じる)

Shift + 「閉じる」(適用していなければメッセージを表示します)

Shift + 「元に戻す」確認画面を表示せずに元に戻します。

Shift + 「次へ」は、残りのダイアログをスキップします。

これは、「ブックレット」・「ページ割付」・「丁付け」・「トリム&シフト」で利用できます。

Shift キーを押しながら▼マークをクリックすると、全てのグループの詳細機能を開閉します。



## 挿入ページ

主な変更点はページを「一定間隔に挿入」する機能です。

ファイルを選択して挿入する場合は、最近使用したファイルを表示します。

「ブラウズ」を選択する事で他の PDF ファイルを選択できます。

ファイルの右側にある「I (情報)」アイコンは、ファイルの情報（サイズ・裁ち落とし情報）を表示します。

### 一定間隔に挿入

一定間隔に挿入する機能は、空白ページまたは選択したファイルを挿入します。例えば以下のような用途があります。

例 1：現在開いている書類（全てのページ）に、裏面を挿入する。

例 2：書類の 3 ページごとに空白ページを挿入する。

「繰り返し方法」は、「挿入する書類全体」を指定するか、繰り返す回数を制限する事ができます。

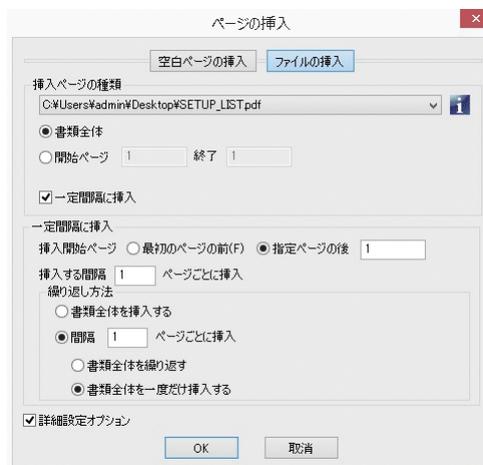
### 一定間隔に挿入する詳細設定オプション

「ファイルの挿入」には「詳細設定オプション」のチェックボックスがあります。より詳細なオプションを表示します。

例：書類に共通の裏面を挿入する場合は、「書類全体を繰り返す」事ができます。これは繰り返し同じ裏面ページを挿入します。

### 二つの書類を一定間隔に挿入する為に使用するケース

例：一つの書類から表面、他の書類から裏面を挿入する場合に「挿入する間隔 1 ページ」を選択します。



## 「タイルページ」

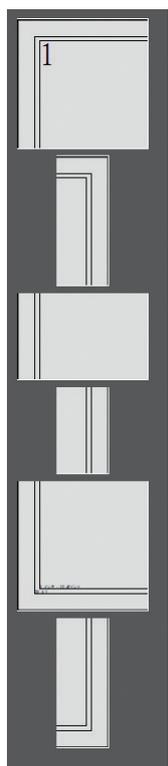
QI + 3 は、行数と列数を選択する方法でタイルページを作成しました。

QI + 4 では、幅と高さを調整する方法を追加しました。

正確なサイズに分割するケースに使用します。

例：A4 縦サイズを異なるサイズに 6 分割します。

幅に 150 60 高さに 150 100 47 と入力します。



結果として

150 × 150 ミリ

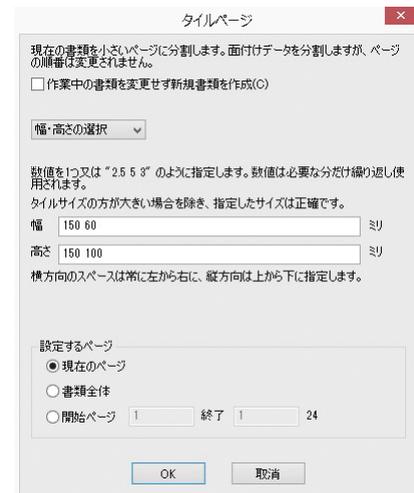
60 × 150 ミリ

150 × 100 ミリ

60 × 100 ミリ

150 × 47 ミリ

60 × 47 ミリに分割されます。



タイルページ

現在の書類を小さいページに分割します。面付けデータを分割しますが、ページの順番は変更されません。  
 作業中の書類を変更せず新規書類を作成(O)

幅・高さの選択

数値を1つ又は“2.5 5 8”のように指定します。数値は必要な分だけ繰り返し使用されます。  
タイルサイズの方が大きい場合を除き、指定したサイズは正確です。

幅 150 60 ミリ  
高さ 150 100 ミリ

横方向のスペースは常に左から右に、縦方向は上から下に指定します。

設定するページ  
 現在のページ  
 書類全体  
 開始ページ 1 終了 1 24

OK 取消

ページサイズのドキュメント情報でサイズが確認できます。

分割するページの幅まで、入力された数値を繰り返し使用します。

## 「PDF ページ」

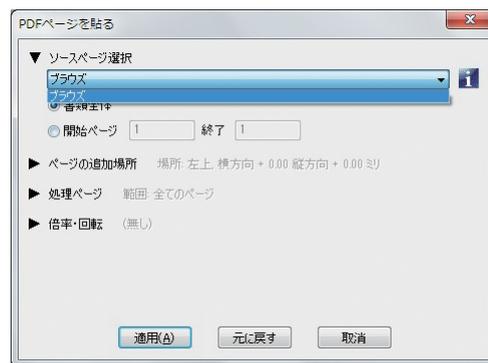
この新機能は他の PDF 上に PDF を追加する事ができます。

例：グラフィックス、ロゴ、広告、スタンプなどを追加します。

全てのページまたは指定範囲に対して、ソースページをターゲットに貼り付ける事ができます。複数のターゲットに対して複数のソースページを追加する事もできます。

ソースページが不足した場合は、ソースの範囲が繰り返し使用されます。(ターゲットページの不足はエラーになりません。)

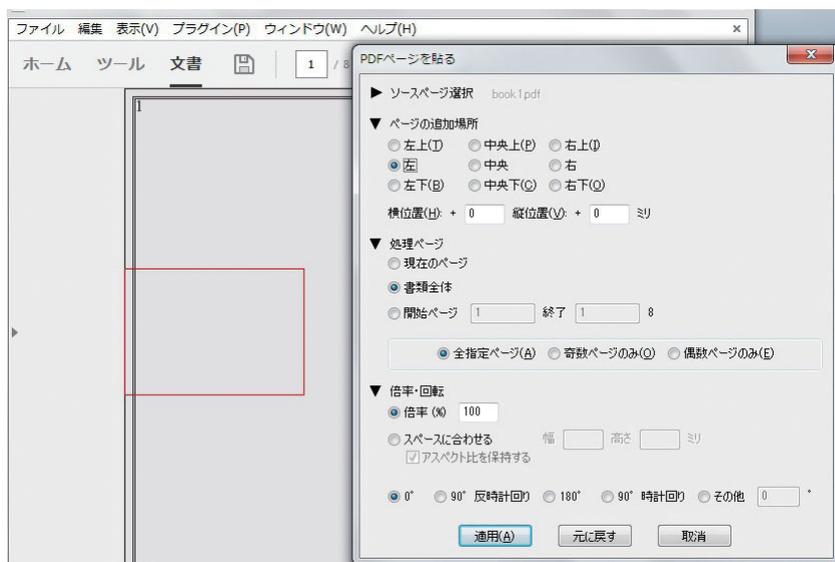
配置する位置を指定します。(原点を選択します：各コーナー・上下左右・中心)  
ターゲットのソースが配置されるエリアに赤い枠が表示されます。  
ソースページが正しい位置に配置されない場合は、すぐに元に戻す事ができます。



### ファイルの選択

プルダウンメニューのブラウザを選択してソースファイルを選択します。メニューリストには、最近使用したファイルが表示されています。

情報ボタン「i」は、ファイルのページサイズとページ数を表示します。



### 倍率

通常は 100% のページサイズで配置します。

倍率を変更して配置する場合、赤い枠に注意して配置して下さい。

アスペクト比（縦横比）を保持して配置するオプションが選択できます。

アスペクト比の保持機能は、ソースページのサイズが異なる場合には推奨されません。

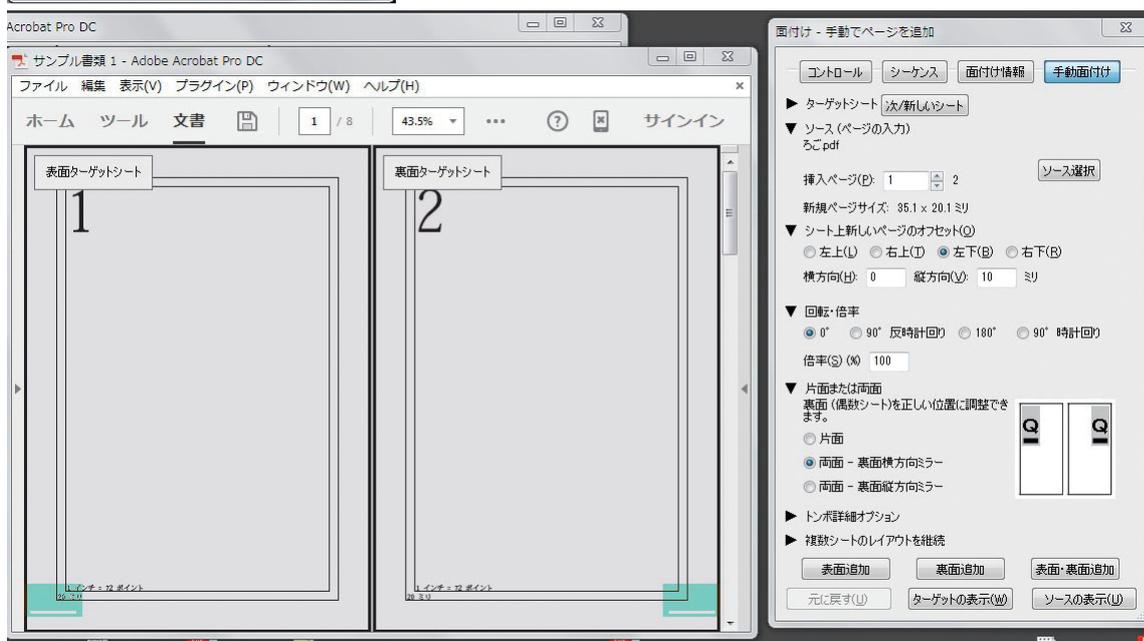
## 「手動面付け」



通常マーク類を両面に配置する場合は、手動面付けを使用します。

以前のバージョンでは、表面とミラー反転するように、注意して計算する必要がありました。新機能では裏面処理の操作性を高める機能を追加しました。

片面だけの場合は片面を選択できます。



裏面横方向ミラーは、例えば左から 10 ミリの場合は、右から 10 ミリになります。

裏面縦方向ミラーは、例えば上から 10 ミリの場合は、下から 10 ミリになり、裏面のソースは 180°回転します。

自動的にターゲットページの表面・裏面を左右のページに表示します。

表面は常に奇数ページで裏面は常に偶数ページです。

ターゲットシートは少なくとも 2 つのシート（表面・裏面）になるように自動調整されます。

ソースページを追加する 3 つのボタンが追加されました。

「表面追加」・「裏面追加」・「表面・裏面追加」

表裏のシートにソースページが追加されるエリアをハイライトで表示します。

「表面追加」をクリックすると表面だけに追加されます。

この時、回転・オフセット位置などの数値はそのまま使用されます。

「裏面追加」をクリックすると裏面だけに追加されます。

この時、ミラー方向・回転・オフセット位置などの数値は自動的に調整されます。

## スマートトンボ

「トンボを付加」をチェックすると、「スマートトンボ」を選択する事ができます。スマートトンボはページに重ならないように配置されます。

手動面付けの「スマートトンボ」は、「ページ面付け」または「丁付け」機能を使用した場合と同様な動作になります。

### トンボを一度追加した場合

ページとのオーバーラップが発生した場合に再度調整する事ができます。

トンボ自体は重ならないように調整されますが、隣接するソースページが同じサイズであればセンタートンボのように変形します。

手動面付けからのトンボマークにのみ影響を受け変形します。

### 複数シートのレイアウトを継続

以前のバージョンでは、各シートごとに個別設定する必要がありました。

シート数の多い繰り返し作業には手間がかかりました。

新機能では1枚または表裏2枚のシート、繰り返しを選択するオプションがあります。

手動面付けを繰り返す場合、ソースに繰り返す分のページ数が必要です。(ターゲットシートも同様に必要)

ソースページを追加すると、「繰り返す」ボタンが使用できます。

新しいシートを作成する予想値が表示されます。

また「元に戻す」機能が利用できます。全体の繰り返し処理を元に戻す事ができます。



## 「剥がす」

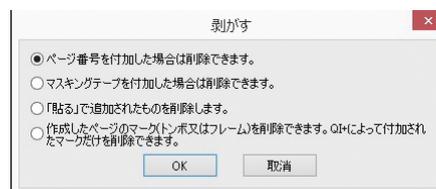
QI + 3 では、「文字列 / 番号」・「マスキングテープ」・「トンボを剥がす」機能がありました。

QI + 4 では「PDF ページ」を剥がす機能が追加されました。(PDF ページを貼る機能で追加された PDF を除去します)

### 「元に戻す」

QI + 4 ではこの機能を、より多くのコマンドに拡張しました。

QI + 4 の「元に戻す」機能は、面付け後に PDF ファイルへ記述された XML 情報を参照しています。



ファイルを保存した後でも、対応する機能であれば元に戻す事ができます。

「元に戻す」機能は、戻すコマンドがどのくらい前の作業なのか経過時間を表示します。

QI + 4 の「元に戻す」を優先する場合、Acrobat 自体の「元に戻す」の機能は使用しないで下さい。

## 「ページサイズ」

「ページサイズ」の調整にも新しい調整方法が追加されています。

ページサイズ情報

ページサイズ調整の「ドキュメント情報」ボタンはページサイズを表示します。(裁ち落とし情報を含む)



## 倍率

QI + 3 は、ターゲットに対する拡大・縮小を選択する事ができました。

QI + 4 では倍率を指定する事ができます。

「ページと同じ」

事前にサイズを調べなくても、書類と同じ大きさのページを設定する事ができます。(詳細設定オプションの選択時に表示します)

ページサイズは、選択したページと同じになります。

「同程度のサイズを調整する」

この機能は、必要とするサイズに近いサイズのページを調整します。

その他のページに影響しない為、サイズの異なるページ構成の PDF を処理する場合に使用します。

## 「ページツール」

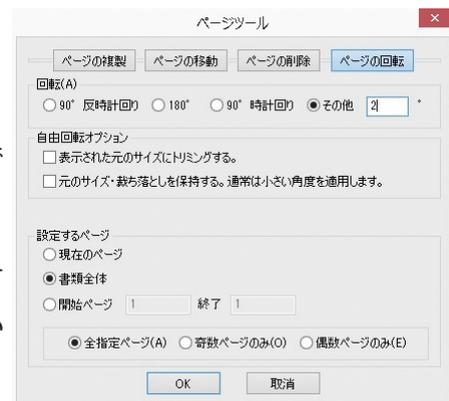
### 自由回転

ページは任意の角度で回転できます。

例えば 1.25 度といった正確な角度を設定することができます。

元のページの周囲に白地部分がある場合、元のページがトリミングされたか裁ち落とし領域を持っている可能性があります。

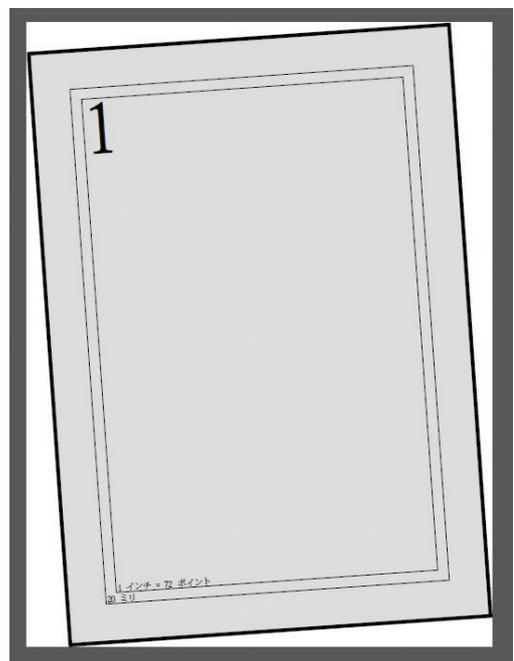
自由回転した場合、元のページサイズと同じサイズであれば、ターゲットサイズを大きくする必要があります。



### 「表示された元のサイズにトリミングする」

元のサイズのまま回転し、角を欠落しないように白地をトリミングします。

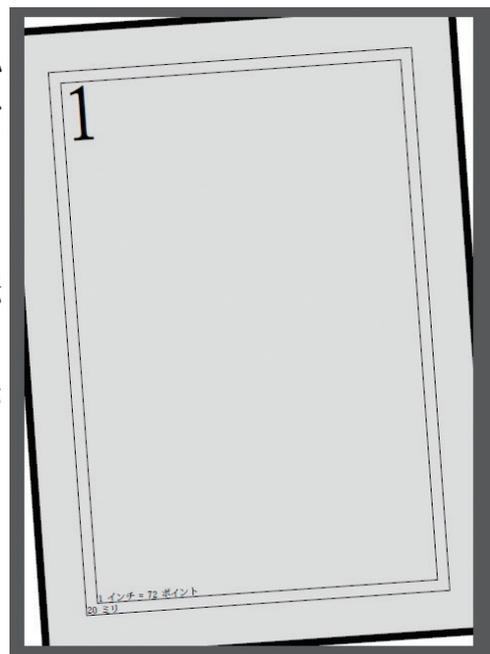
ページサイズは大きくなります。



「元のサイズ・裁ち落としを保持する。通常は小さい角度を適用します」を選択すると、例えば 30 度の回転では、一部の角が欠落します。

このオプション調整は、非常に小さな自由回転を行う際に便利です。

出力機によっては、両面時の見当ずれの問題があり、その誤差が一定な場合は、このオプションを使用して補正することができます。



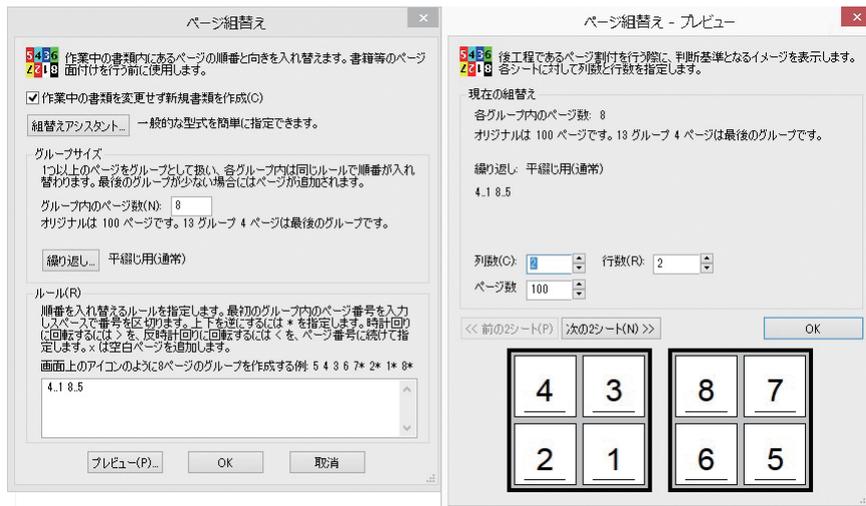
# 「ページ組替え」

## 高速処理と制限解除

### ページルール（ルールの手動入力と制限解除）

大量ページの特異なページ組替えが必要なケースでは、組替えアシスタントが利用できない繰り返しルールがあります。

その場合に、ルールの手動入力に関する入力字数の制限を解除しました。



### 組替え範囲

ルールの手動入力で ..（ドット 2つ）を使用できます。

例えば 5..8 は 5678 です。4..1 は 4321 を入力した意味となります。

例：「1..100 200..101」これは 200 ページのグループサイズで、101 ～ 200 ページを逆順に 301 ～ 400、501 ～ 600 と繰り返します。

## 「トリム & シフト」と「クリープ」

### クリープ機能

QI + 4 では、独立したコマンドとしました。ただし「トリム & シフト」機能の中にもクリープは残されています。

### 裁ち落としマージン保持

以前の裁ち落とし情報は、トリム & シフトの前に削除されます。QI + 4 からは裁ち落としを保持する選択ができます。

(クリープアシスタントの詳細オプション内)

## 「マスキングテープ」

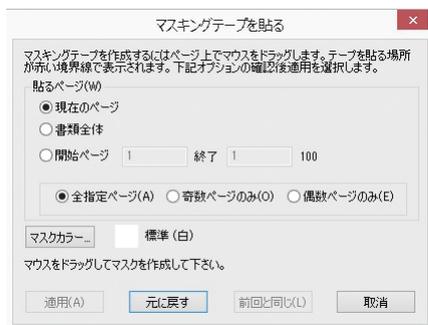
この機能は「文字列 / 番号」を貼るのようなボタン構成（適用 / 閉じる / 元に戻す）になりました。

またマスクのカラーを選択する機能を追加しました。

カラーバリエーションは、デバイス RGB、CMYK、グレースケール、レジストレーションです。(ICC プロファイルは適用できません)

### PDF/X サポート

全ての PDF/ X は、そのルールの一つとして、フォントを埋め込む必要があります。



### 注意点

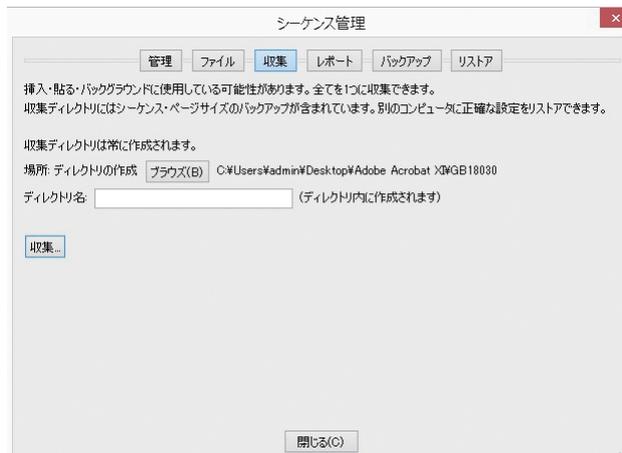
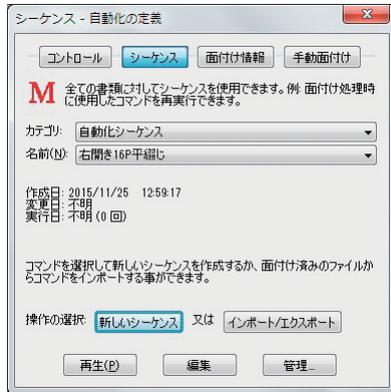
RGB と CMYK は ICC プロファイルにタグ付けされません。

RGB 値の範囲：0 ~ 255、CMYK の範囲：0 ~ 100%

全版（レジストレーション）を選択する場合は 100% を使用して下さい。

## シーケンスの「管理」

管理機能は、シーケンス名の変更・移動・複製によるシーケンスの管理ができます。



シーケンスの「収集」は、新しいシステムへ移行する場合など、使用される全てのファイルとシーケンスを収集することができます。